

第1部 アルペンセミナー

ルール説明会

2017年8月26日

東京都スキー連盟 競技本部アルペン部 強化部



本日、お伝えしたいこと

今シーズン変更されたルール、ポイント等に関する解説

上部団体(SAJ/FIS)主催の大会に参加する上で必要なルール及び注意点の確認

ジュニアオリンピック選考について

アルマナック(競技本部 一般向け強化事業の紹介)

強化指定選手、推薦選手的位置付けと選考基準

2018年度アルペンルール改定について

競技本部 技術部より説明

上部団体(SAJ/FIS)主催大会へ出場する際の注意事項



大会出場の注意事項

- 他県主催の大会への出場は、東京都スキー連盟の**推薦**が必要です。申込みは必ず東京都スキー連盟の**事務局**を通して行なってください。
- 開会式、選手会、監督会議等には**チームキャプテン**等が必ず出席してください。
- SAJ/FIS公認大会では公開ドローがあります。参加選手・監督・チームキャプテンは公開ドローにて**ボードコントロール**を行なってください。
- 公開ドローに参加出来ない場合には、事前に不参加理由を文章で都連事務局に**FAX送付**し、電話にて受付**確認**を行なってください。(事務局が不在の場合には直接大会本部へ連絡をお願いします。)
- Bib配布後の大会不参加はペナルティーの対象となります。止むを得ない事情により出場出来ない場合には、**理由書を大会本部へ提出**するか、出来ない場合には電話にて連絡を入れてください。

競技会中の抗議に関して

(東京都スキー連盟主催大会 及び 関東ユースシリーズ大会等)



競技会中の抗議に関して

- 抗議提出期限は、コース及びコンディションに関してはレース開始60分以内、競技中の他の選手、選手の用具、役員の不正に関しては最終ランナー通過後**15分以内**。失格に対する抗議は失格発表後**15分以内**。
- 抗議には、**チームキャプテン**が詳細な**理由を記し**、または口頭にて実証されなくてはならない。証拠を示し、**証拠物件**を添付しなければならない。
- 抗議提出の際、**¥10,000-**をデポジットとして支払わなくてはならない。このデポジットは、その抗議が受け入れられれば返却される。
- ジュリーの決定が発表される前に、抗議側が抗議を撤回することが出来る。この場合、デポジットを返却しなければならない。但し、抗議の撤回は、ジュリーメンバーが時間的理由等により、条件付き決定などの中間決定を出した場合には不可能となる。

ジュニアオリンピックの選考について

【ジュニアオリンピックの選手選考】

- 選考競技会は、**関東ユース第1戦、第2戦**の競技会を選考対象とする。
- 選考には、**W.C.ポイント方式**を採用し、ポイントを付与する。(以下、ジュニオリポイントという)
- 各レース、種目ごとに東京都登録選手内の順位付けでジュニオリポイントを加点する。
- 取得したジュニオリポイントが同点の場合には、**SAJポイントの上位者**(GS種目を優先)を選考する。
- 選考するSAJポイントは、関東ユースシリーズ**第2戦開催日時点**での最新版を採用する。

2018ジュニアオリンピック選考対象レース

K2選考4レース

- 関東ユースシリーズ第1戦東京大会 (SG/GS) ジュニアオリポイントを付与
- 関東ユースシリーズ第2戦群馬大会 (SL/GS) ジュニアオリポイントを付与

K1選考4レース

- 関東ユースシリーズ第1戦東京大会 (SG/GS) ジュニアオリポイントを付与
- 関東ユースシリーズ第2戦群馬大会 (SL/GS) ジュニアオリポイントを付与

W.C.ポイント方式とは？



選手名	レース 順位	SAT 順位	ジュニオリ ポイント
		1	100
		2	80
		3	60
		4	50
		5	45
		6	40
		7	36
		8	32
		9	29
		10	26
		11	24
		12	22
		13	20
		14	18
		15	16
		16	15
		17	14
	
		27	4
		28	3
		29	2
		30	1
		31	0

2018年度 SATアルマナック

関東ユース第1戦に向けた事前練習会

キッズイベント

春季レーシングキャンプ

関東ユース第1戦に向けた事前練習会

日程

- 2018年 1月20日(土)～ 1月21日(日)

目的

- 関東ユース大会にむけての東京都選手への調整環境の提供
- スーパーG競技の事前の公開練習

参加資格

- ユース大会に出場する、東京都スキー連盟所属のカテゴリ:A・B・K1・K2の選手
- 東京都強化指定選手、推薦選手は、強化合宿に参加になります
- スポーツ傷害保険またはこれに準ずる傷害保険に加入していること

キッズイベント

日程

- 2018年 1月20日(土)

目的

- A・B・キッズ(幼児)世代の将来の競技者人口の拡大と選手の発掘

参加資格

- 東京都在住、在校在園の幼児(年長)～小学生で、競技スキーに興味のある子
- 中斜面にて簡単な左右へのターンができるスキーレベル
- 保護者が帯同、もしくは、ゴール付近にて監督できる方
- リフトの乗車を含め、技術的に参加が難しい場合は、保護者が必ず帯同してください

春季レーシングキャンプ

日程

- 2018年 4月28日(土)～ 4月30日(祝)

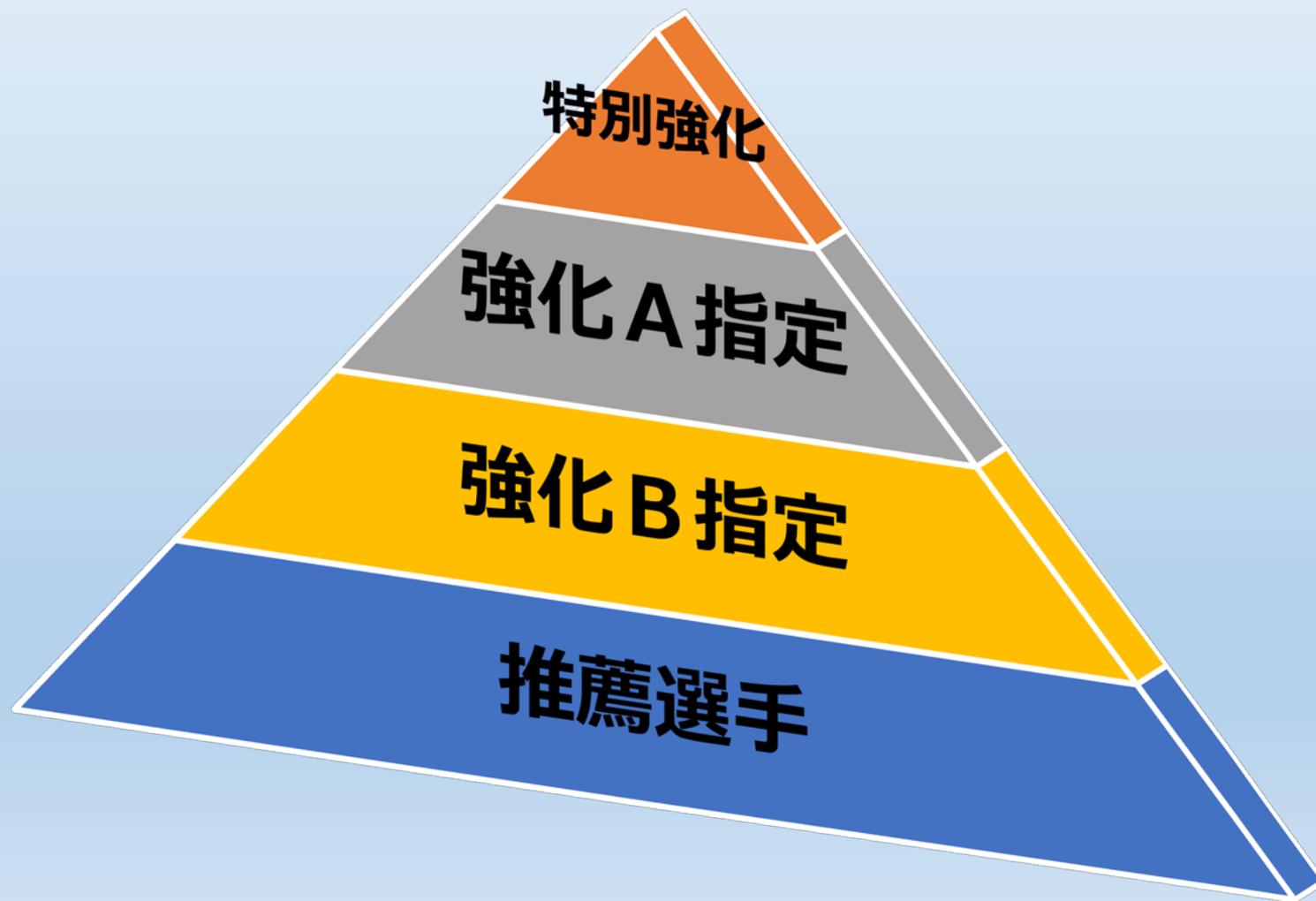
目的

- ユース、ジュニア選手の長期育成計画に基づく、育成・強化
- 技術系種目に着眼し、次年度に向けての課題形成と基本技術の習得

参加資格

- 東京都強化指定選手及び推薦選手
- ゲートレーニング経験のある、東京都スキー連盟所属の新小学5年生～新中学3年生の選手
- 東京都強化指定選手、推薦選手は、並行して行われる強化合宿に参加になります
- スポーツ傷害保険またはこれに準ずる傷害保険に加入していること
- 一般選手の参加は、保護者が帯同できる方

SAT強化選手のカテゴリー



強化指定選手の選考基準

特別強化選手(男女共通)

- 全日本ナショナルチームに選考された選手
- 全中、インターハイ、国体、ジュニアオリンピック等A級大会で入賞選手
- 東京都アスリート認定選手
- 強化部会、技術部会が推薦する選手

強化A指定選手(U-21 男女共通)

- 全中、インターハイ、国体20位以内
- 雫石SG 10位以内
- 全中予選、インターハイ予選3位以内
- 強化部会、技術部会が推薦する選手

強化B指定選手(U-21 男女共通)

- 全中、インターハイ、国体出場選手
- ジュニアオリンピックで30位以内
- 強化部会、技術部会が推薦する選手

推薦選手の選考基準 (U-21男女共通)

- FISポイント150点以内
- SAJポイント150点以内
- 全中予選10位以内
- 関東大会出場(男子40位以内、女子25位以内)【暫定】
- ジュニアオリンピック出場
- 関東ユース1・2での総合成績(ジュニアリポイント順位) K2男子20位以内、女子15位以内
K1男子15位以内、女子10位以内
- 関東ユース3 K2男子10位以内、女子10位以内。K1男子10位以内、女子10位以内
- 南関東ユース大会 チルドレンB (小4)5位以内(小学4年生の次年度K1出場救済)
- 南関東ユース大会 チルドレンK1 (小5~6)10位以内(シリーズ戦に全て出場できない選手の救済)
- 強化部会、技術部会が推薦する選手

強化・推薦選手の認定と維持について

- 選考は、前年度3月末時点の都連競技者登録者から選考基準に基づき強化部がおこなう。
- 認定資格は1年単位。年度毎に選手の入替をおこなう。
- 選考は6月までに実施し、理事会にて認定承認の手続きをとる。
- 認定書の発行をもって正式認定とする。
- 当該年度の10月末日までに都連競技者登録を行わない場合は、自動的に認定を解除する。また、本人が辞退の意思を持った場合はこの限りでない。
- インターハイ、全中、国体の各予選通過者で新規および格上げとなる選手は、1月末日で新たに認定を行なう。（この時点での格下げ、認定解除は行わない）
- それ以外の選考は、3月末までの大会成績の集約まで実施しない。

ご清聴ありがとうございました

第2部 選手および保護者説明会

アルペン強化事業について

2017年8月26日

東京都スキー連盟 競技本部アルペン部 強化部



本日、お伝えしたいこと



2018年度強化方針

2018年度強化事業内容とスケジュール

強化合宿参加について

海外合宿の事前説明

(参加希望、または検討中の方を対象)

東京都強化選手的位置づけ

『TEAM TOKYO』として行動する

- サッカーでいう、各クラブチーム。そこから召集される→加盟団体の『チーム』を形成する。

どんな選手が選ばれる

- 強化目的、年齢層に応じた選手のカテゴリサイズ

具体的にはどんな活動

- 強化方針に基づく事業活動

強化選手としての心構え、行動

- チームとは？
 - 共に同じ目標を掲げ、共に進む、共に助けあい、励ましあうことができる。
 - チームメイト、それを率いるコーチと信頼関係が構築されている。
- 心構え・行動
 - 東京都の代表選手としての誇りを持つ。
 - 明確な目標を持ち、東京都代表としての向上心が持てる。
 - プライベートでのチームと都連でのチームをそれぞれ、位置づけを理解し、参加できる。
 - チームを理解し、同じチームメイトやコーチと行動ができる。

強化事業の位置付け

普段の所属しているチーム合宿との違い

- それぞれの合宿の意義を理解し、両立させる。
- 普段の練習での滑り、それを東京都の合宿で活かせる。
- そこからの問題点を探ることができ、発言ができる。

各合宿(雪上トレーニング)の意味づけ

- 国体強化(国体候補選手強化): 海外2回(シーズン前)、国内2回
 - 高速系、GS種目に特化した国内トップレベルの選手育成
- ユース育成・強化(オリンピック候補、ユース強化): 国内5回、海外1回(国体強化と併催)
 - 国体およびA級大会で上位を狙うための高速系、GS種目に特化した国内トップレベルの選手育成
- 競技者普及(ジュニア強化): 2回(強化合宿と併催)

強化事業の位置付け

フィジカル強化

- 基礎体力強化
- 基本動作の習得
 - 基礎知識の習得とスキー動作と関連付ける
 - 必要なイメージトレーニング

本題に入ります！ SATの強化事業とは？



基本理念…『アスリートファースト』



普及

- 『広く競技の世界を周知し、競技者の普及を行い、その裾野を広げる』
- ターゲットゾーン: 小学生(A・B)

育成

- 『発掘した、選手を東京都の代表選手までの道筋をつける』
- ターゲットゾーン: K1・中学1年生

ユース強化

- 『東京都の代表選手として、試合で結果が出せるよう強化を行う』
- ターゲットゾーン: K2の強化B指定、推薦選手

ジュニア強化

- 『国体、A級大会で上位入賞を目標に強化を行う』
- 特別強化、強化A指定選手(ユース選手含む)
- Waiting(国体強化対象): ジュニアの強化B選手(長い目で)

国体強化

- 『国体で結果を残すことで、さらなる強化事業の発展につなげる』

強化部が描く『Plan2020』（4カ年計画の2年目）

男子選手・・・全国レベルで戦える選手の育成

- 国体男子入賞（特に少年組）
- A級大会入賞
- 全日本選手権出場
- ユース、ジュニア世代の選手層の厚みを維持し、空洞化をなくす

女子選手・・・レベル維持、継続的なタレントアスリートの育成

- 国体皇后杯獲得
- 女子ナショナルチーム入り
- ユース、ジュニア世代の選手層の厚みを維持し、空洞化をなくす

強化事業の主な目的

技術向上

- 基本理念に基づいた各世代の選手の能力を強化

教育

- 選手としての規律性と人間力の向上
- 規律の徹底、マナー指導

強化事業の3本柱とトレーニングの特色

◆ 中期を見据えたユース世代(K1、K2)の選手育成・強化

- **将来の国体選手に向けての強化**
 - 背景: 男女少年組の強化(雪質の対応を含め、苦戦が予測される)
 - 選手層を厚くし、切磋琢磨しながら予選を通過、東京代表として国体入賞者を増やす
 - シード枠を維持できる結果を残しつつける
 - 東京都代表選手として、**A級大会で結果が出せる選手**
 - SAJ強化選手(ナショナルチーム)へのエスカレーションへの道筋をサポートしていく

◆ キッズ選手(小学生、幼児)の競技普及

- **競技人口減の歯止め**
- 競技参加のハードル(距離感)の溝埋め
- 将来のタレント選手候補へと動機づけ(=過剰にならない範囲で)の環境提供

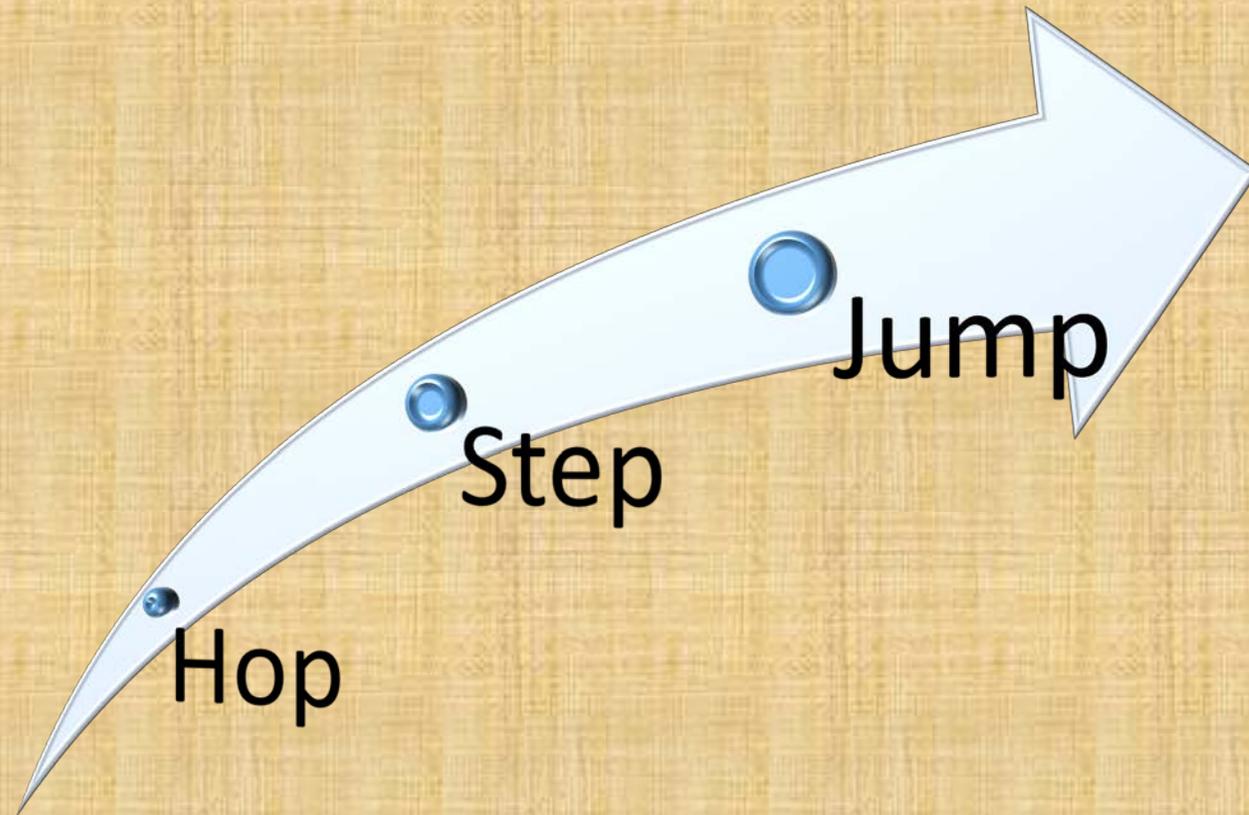
◆ 短期での国体選手の強化(高校生以上のシニア)

- **GS技術の向上、高速系(SG)の強化**
- 翌年に向けたシード枠を維持、拡大(少年組男子はスタート順の底上げを優先)
- 29年度目標: 入賞者1名以上、第1シード枠・第2シード枠15名以上

● トレーニングの特化

- 選手が普段トレーニングしているクラブチームでのトレーニング環境とは区別し、**GSと高速系(SG)に特化**し、特に国体での目標達成を求める
- SL系は、全日本選手権、A級大会等で、より上位へのランク入りを目指しての補完的な強化施策と位置づけ、普段のクラブチーム等での練習環境による技術向上を前提とする(SATとしてSLの強化を優先しない)

トレーニングの特化について



雪上トレーニング強化

シーズンを通しての選手育成

- 月1回の頻度で合宿をおこない、選手の技術向上レベルを把握し、個々の育成をはかる

高速系トレーニング

- スーパーG基本技術の理解と習得
- スーパーGの実践的トレーニング

公認コースでのトレーニング

- 実践を想定したコース長、斜面変化でのトレーニング
- 全中対策

フィジカル強化

【在京陸トレ会のポイント】

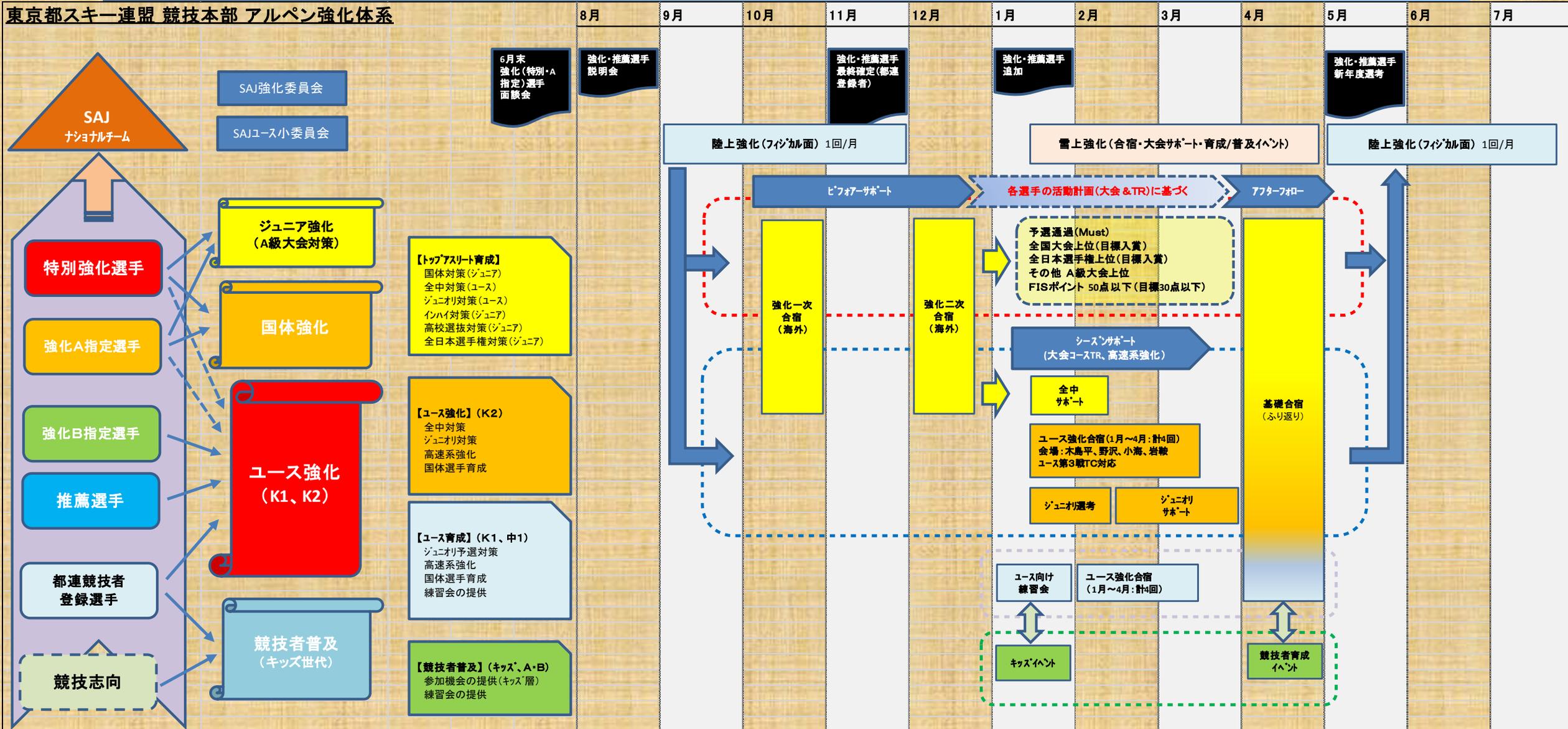
- ・実施回数を前年度より増やし、9月～11月に7回、5月～7月に3回の計10回を計画。(昨年度実績:9月～11月の1回/月の実施)
- ・専門トレーナーによる施設(ジム)利用での身体強化の実施(1回/月ペースでシーズン前3回、シーズン後3回を計画)

※施設(ジム)トレーニングは、施設利用のキャパシティーにより、特別強化とA指定選手限定となります。

※パワー系を行う関係上、身体が出来ている年齢(15歳以上)に制限を設けさせていただきます。

強化体系図(2018年度版)

東京都スキー連盟 競技本部 アルペン強化体系



2018年度 SAT アルペン強化部 事業一覧

強化事業 No.	期間	行事名	事業目的		対象	場所
1	2017年8月26日(土)	アルペン強化セミナー、選手および保護者説明会	キッズ、ユース、ジュニア	育成、強化	特別強化、強化A・B、推薦選手	都内(成城学園)
2	2017年9月～11月、6～7月	アルペン陸上トレーニング①	ユース、ジュニア	普及、育成	特別強化、強化A・B、推薦選手	都内(光が丘公園ほか)
3	2017年11月	国体強化合宿①	ユース、ジュニア	国体強化	特別強化、強化A・B、推薦選手	海外(米国)
4	2017年12月	国体強化合宿②	ユース、ジュニア	国体強化	特別強化、強化A・B、推薦選手	海外(中国)
5-1	2018年1月19日(金)～1月21日(日)	アルペン雪上トレーニング① 1)強化合宿	ユース、ジュニア	強化	特別強化、強化A・B、推薦選手	長野県木島平スキー場
5-2		アルペン雪上トレーニング① 2)関東ユースI公開練習会(現地参加)	キッズ、ユース	育成	都連競技者	
5-3		アルペン雪上トレーニング① 3)キッズ向け雪上イベント(現地参加)	キッズ	普及	都内在住、在学者	
	2018年2月2日(金)～2月4日(日)	関東ユース第2戦・チームキャプテン派遣	ユース	ジュニオリ強化	都連競技者	群馬県尾瀬戸倉スキー場
	2018年2月6日(水)～2月11日(日)	全国中学生大会・コーチ派遣	ユース	強化	全中選考選手	秋田県花輪スキー場
6-1	2018年2月9日(金)～2月12日(月)	国体強化合宿③ 1)国体一次合宿	ジュニア、シニア	国体強化	国体選考選手	北海道カムイスキーリンクス
6-2		国体強化合宿③ 2)強化合宿	ジュニア	強化	特別強化、強化A・B	
7	2018年2月16日(金)～2月18日(日)	アルペン雪上トレーニング②	ユース、ジュニア	強化	特別強化、強化A・B、推薦選手	長野県野沢温泉スキー場
8	2018年2月22日(木)～2月24日(土)	国体強化合宿④ 国体二次合宿	ジュニア、シニア	国体強化	国体選考選手	新潟県妙高高原スキー場
	2018年2月24日(土)～2月28日(水)	国民体育大会チーム・コーチ派遣	ジュニア、シニア	国体強化	国体選考選手	新潟県妙高高原スキー場
	2018年3月2日(金)～3月4日(日)	関東ユース第3戦・チームキャプテン派遣	ユース	ジュニオリ強化	都連競技者	新潟県上越国際スキー場
9	2018年3月9日(金)～3月11日(日)	アルペン雪上トレーニング③	ユース	ジュニオリ強化	ジュニオリ選考選手、次期候補選手	長野県小海リエックススキー場
10	2018年3月18日(土)～3月20日(火)	アルペン雪上トレーニング④ ジュニアオリンピック直前合宿	ユース	ジュニオリ強化	ジュニオリ選考選手	岩手県雫石スキー場
	2018年3月20日(火)～3月25日(日)	ジュニアオリンピック・チームキャプテン・コーチ派遣	ユース	ジュニオリ強化	ジュニオリ選考選手	岩手県雫石スキー場
11	2018年4月6日(金)～4月8日(日)	アルペン雪上トレーニング⑤	ユース、ジュニア	強化、育成	特別強化、強化A・B、推薦選手	群馬県岩鞍スキー場
12	2018年4月28日(土)～4月30日(月)	アルペン雪上トレーニング⑥ レーシングキャンプ(小・中学生対象練習会)	ユース、ジュニア	普及、育成	特別強化、強化A・B、推薦選手 都連選手(新小学5年生～新中学3年生)	群馬県岩鞍スキー場

カテゴリ:キッズ(幼児年長、小学生1年生～4年生)、ユース(小学5年生～6年生、中学1年生～3年生)、ジュニア(高校1年生～3年生、大学生)

強化コーチ体制

招へいコーチによる合宿でのコーチング、大会サポート

- 東京都スキー連盟コーチ: 大瀧詞久、工藤昌巳、佐藤翔
- 必要に応じて外部コーチを招へい

招へいコーチとは？

- ワールドカップ、世界選手権、オリンピック等の国際大会の出場経験
- 日本代表コーチ経験
- 全日本選手権入賞経験
- その他、海外指導経験、現地コーディネータ、コネクションに長け、当連盟が認める者
 - 上記いずれかに該当するコーチ

強化合宿参加について

※合宿、陸トレ会の参加にあっては、各自スポーツ障害保険への加入が前提となります。